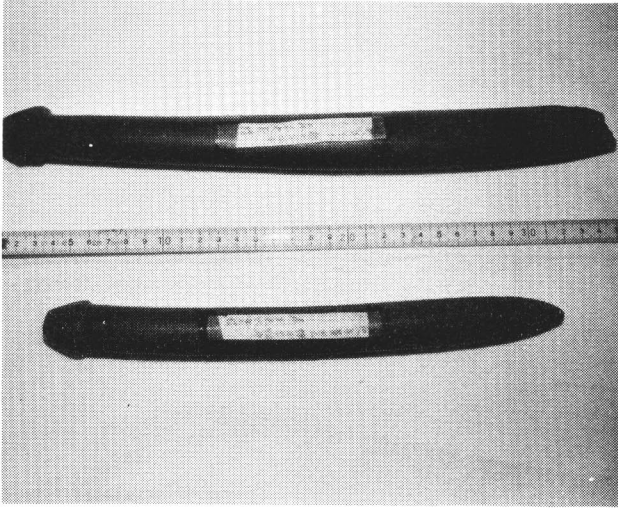


石刀を出土した

## 畑中遺跡と経塚

糠田・畑中にある三番組公民館の裏手一帯の畑か



畑中遺跡出土の石刀

ら縄文時代の土器片・石器（石ヒ、石斧）が採集されることから古代の住居跡とみられ、畑中遺跡と呼ばれます。二町歩（二ヘクタール）に及ぶ広範囲の地域に分布するので、かなり大きな集落があったものと考えられます。

ここの出土品の中に、写真のような石刀があります。大は三五センチ、小は二八センチの長さで、ややそった内側が刃のようになっており、先端が尖っています。黒色の磨製石器で、縄文後期に多く作られたものとみられます。これらは儀仗用のものと考えられ、首長の存在が考えられています。（福島市史<sup>1)</sup>

また、公民館の一角になりましたが、「経塚」といわれてきたところがありました。一つの石に一文字を書いて埋めた石塚であったとのことです。

経塚が多く作られたのは平安時代の終わりのころです。この経塚もそのころのものではなかつたかとみられます。仏教の先進地のひとつです。